

エルサレム教会の意識変革

使徒の働き11:1-18
2016,7,3 HKJCF

I 概観

序)①カイザリヤ教会の設立②エルサレム教会の意識変革③福音理解と選民意識の変革

- 1、異邦人回心の知らせ v1-3
- 2、ペテロの説明 v4-17
- 3、エルサレム教会の意識変革 v18
- 4、結論・適用・祈り

II 異邦人回心のニュース

- 1、使徒たちとユダヤにいる兄弟たち
 - 2、割礼派からの非難
 - 3、無割礼の人々との交わりの問題
- ⇒①律法は救いの条件か？
②割礼は選民の印か？
③割礼問題の継続 ガラテヤ2:11-16
⇔十字架による選民意識の克服
ローマ4:9-16

III ペテロの説明

- 1、幻による啓示と神様のみ声
 - 2、カイザリヤからの3人の訪問者
 - 3、聖霊の降臨 使徒2:1-4,19:1-7
 - 4、イエス様のみ言の確証
 - 5、ペテロの従順
- ⇒①み心を知る←整えられた心
1)幻・み言の導き 2)状況・聖霊の働き
3)イエス様のみ言の確証
②み心に従う←砕かれた心
ヨハネ21:18-22

IV エルサレム教会の意識改革

- 1、意識改革の内容
 - ①ユダヤ人の選民意識
 - ②福音の絶体性
 - ③律法の相対性
- 2、救いの原理としての十字架の福音の完全性・絶対性が聖霊によって確証
- 3、割礼問題はなおエルサレム教会会議を待つ必要があった
使徒15:1-2,ガラテヤ2:1-10

V 結論・適用・祈り

- 1、カイザリヤ教会設立の意味
- 2、エルサレム教会の意識改革の祝福
「神様、私たちはみ心より、自分の考え、自分の好みを先立て易いものです 自分の思いや基準を超えた祝福にあづかれるように、私たちの心を砕き、やわらかいものとしてください み言が与えられ、神の人に出会い、聖霊のみ業にあづかれますように心を整えてください 又、示されたみ心に従える信仰を与えてください」